

# AWA Cart-S-A AWA Cart-S-A-L

## 取扱説明書

このたびは、“霧のいけうち®”の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本取扱説明書は、正しく安全にご使用いただくための取扱方法と保管及び手入れについて説明しています。ご使用前に、本取扱説明書をよくお読みいただき十分理解され、本製品がいつまでも優れた性能を発揮できるように本冊子をご活用ください。

また、本製品をお使いいただく方々が必要なときいつでも見られるように、本取扱説明書は一定の場所に大切に保管してください。

なお、品質、性能向上、その他の事情で部材の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容と一部異なる場合がありますが、あらかじめご了承ください。

### ● 目次

安全上のご注意	.....	1
1. 機器構成	.....	2
2. 使用開始手順	.....	4
3. 使用終了手順	.....	5
4. SUSランスガンの使用開始手順と使用終了手順	.....	6
5. 仕様	.....	7
6. 泡質調整方法(参考)	.....	8

## 安全上のご注意

■注意事項は、危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに分けています。



### 警告

警告を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性があります。



### 注意

注意を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生したりする可能性があります。

- ① 本取扱説明書は、運転及び保管、手入れを担当される取扱者の手近な所に保管しておいてください。
- ② 本取扱説明書、製品添付の注意書きの内容をよく読み、運転、保管を実施してください。
- ③ ご使用の前に必ず本取扱説明書をよく読み、安全情報や注意事項、操作、取扱方法などの指示に従い、正しくご使用ください。
- ④ 常に、本取扱説明書に記載してある使用範囲に従ってご使用ください。
- ⑤ 本取扱説明書に記載されていない据付け、操作、取扱いに関し改造などを行わないでください。機械の故障、人身災害の原因になることがあります。これらに起因する事故については、弊社は一切の責任を負いません。
- ⑥ 本取扱説明書で理解できない内容、疑問点、不明確な点がございましたら、弊社にお問い合わせください。



### 警告

- 製品及び部品の改造は、絶対にしないでください。破損や、事故の原因となります。
- 接液部の材質はステンレス、真鍮、ポリオレフィン、POM、FEP、EPDMです。薬液等を使用する際は耐薬品性をご確認ください。
- 有毒ガス発生のおそれのある薬剤が混合しないようご注意ください。
- 人の出入りがある場所で人体に有害な液は使用しないでください。
- 泡が飛散することがありますので、安全メガネ等の保護具を着用し、ご使用ください。
- 加圧タンクに0.4MPa以上の圧力を供給しないでください。また、加圧タンクの取扱いには十分ご注意ください。

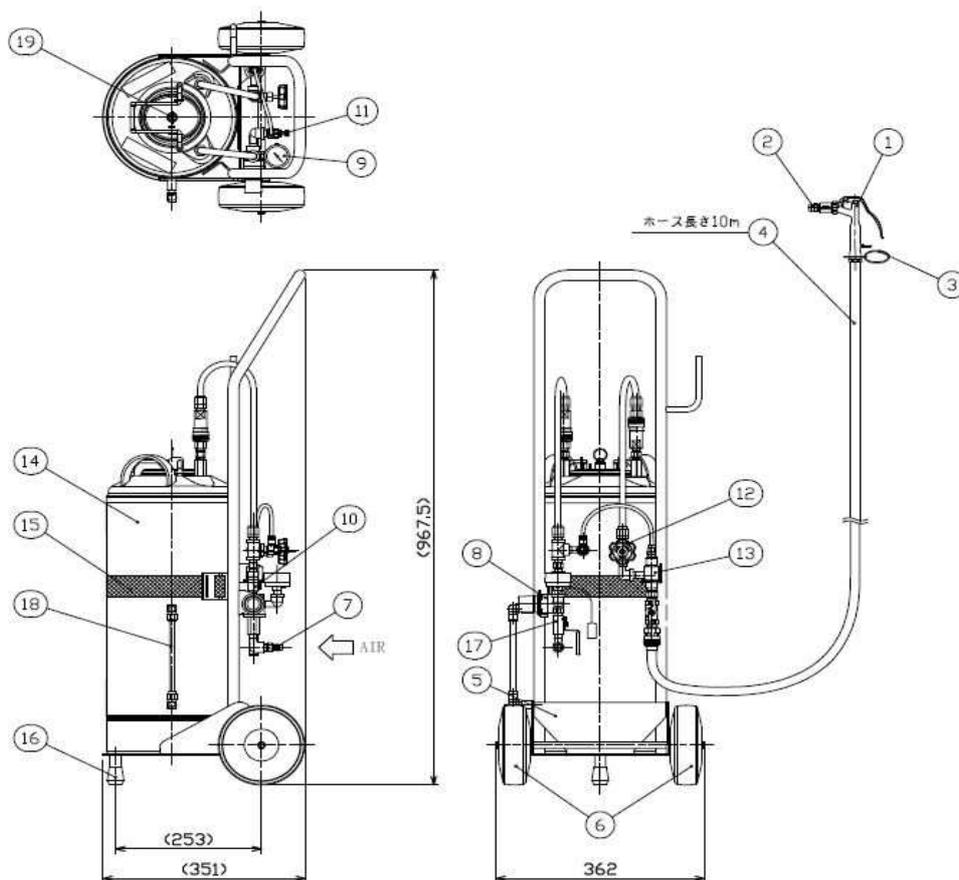


### 注意

- 平坦な場所でご使用ください。転倒の恐れがあります。
- 人に直接液をかけることはしないでください。
- ノズル先端部分は非常に精密にできておりますので、ぶついたりしないようご注意ください。
- 環境温度、使用液は0℃～40℃の範囲内をご利用ください。また、凍結しないようご注意ください。

# 1. 機器構成

## ●外形図 AWA Cart-S-A

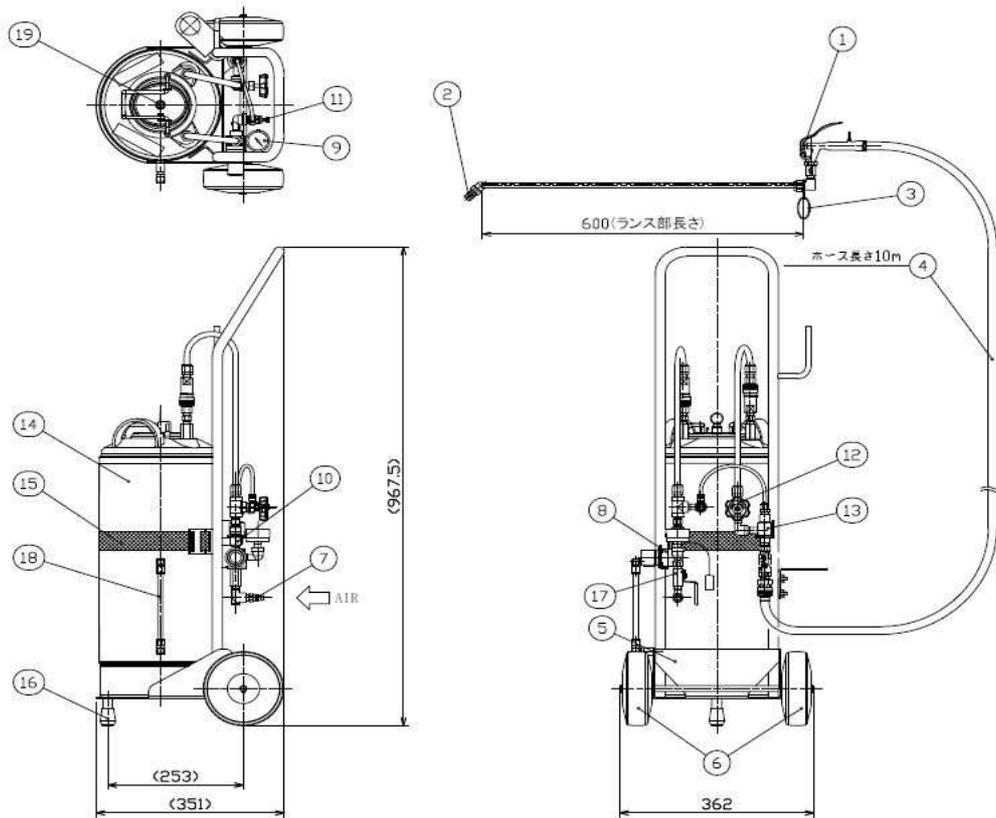


## ●機器一覧表

No.	名称	材質
①	スプレーガン	S316L
②	ノズル(1/4MVVP40200)	S303
③	キーリング	S316
④	ホース(16x10、透明)10m	ポリオレフィン
⑤	架台	S304
⑥	車輪	ウレタン他
⑦	カブラプラグ(MP-02)	S304
⑧	エアー用レギュレータ	アルミ合金他
⑨	圧力計(1.0MPa)	Bs他
⑩	チェックバルブ	S303、EPDM
⑪	スロットルバルブ	S304、PP、EPDM
⑫	ニードルバルブ	S316
⑬	混合アダプター	S304
⑭	加圧タンク(18L)	S304
⑮	ベルト(38mm巾)	PP
⑯	ゴム足	EPDM
⑰	ボールバルブ	Bs+メッキ
⑱	液面計	S316、FEP
⑲	リリーフバルブ	ポリアセタール他

※弊社では「ステンレス鋼」を「S」と略記しています。[例]S303→ステンレス鋼303

●外形図 AWA Cart-S-A-L



●機器一覧表

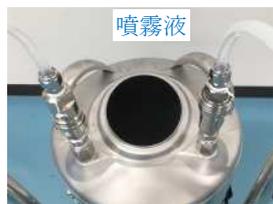
No.	名称	材質
①	スプレーガン	S316L
②	ノズル(1/4MVVP40200)	S303
③	キーリング	S316
④	ホース(16x10、透明)10m	PVC
⑤	架台	S304
⑥	車輪	ウレタン他
⑦	エルボカプラプラグ(MP-02)	POM
⑧	エアー用レギュレータ	アルミ合金他
⑨	圧力計(1.0MPa)	Bs他
⑩	チェックバルブ	S303、NBR
⑪	スロットルバルブ	Bs+メッキ
⑫	ニードルバルブ	S316
⑬	混合アダプター	S304
⑭	加圧タンク(18L)	S304
⑮	ベルト(38mm巾)	PP
⑯	ゴム足	EPDM
⑰	ボールバルブ	Bs+メッキ
⑱	液面計	S316、FEP
⑲	リリースバルブ	ポリアセタール他

※弊社では「ステンレス鋼」を「S」と略記しています。[例]S303→ステンレス鋼303

## 2. 使用開始手順

### (1) 噴霧液の注入

噴霧液を加圧タンク⑭に入れ、蓋を閉めます。蓋がしっかり閉まっていることを確認してください。



※タンクを取り外して液を入れるときは、チューブが折れないように、本体のカプラはホースかけにかけてください。

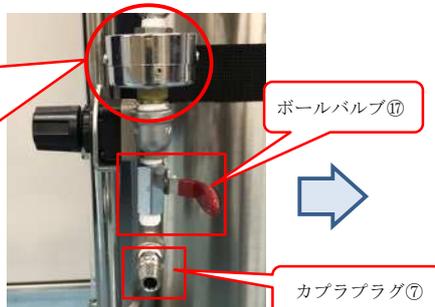
ホースかけ

カプラ



### (2) エア어의接続

ボールバルブ⑦が閉じていることを確認し、レギュレータ⑧の2次エア圧力が0MPaであることを確認します(ノブを反時計方向に回しきった状態)。※ノブにはロック機能があり、引っ張った状態で解除、押し込むとロックします。次に、スロットルバルブ⑩及びニードルバルブ⑫が全閉であることを確認します(時計方向に回しきった状態)。確認できたら、カプラプラグ⑦のダストキャップを取り外し1次エアのカプラソケットを接続します。※青いバルブは開いていることを確認します。



### (3) 圧力の設定

ボールバルブ⑦を開き、レギュレータノブを時計方向に回していき、希望の圧力に設定します。(推奨圧力=0.3MPa)

※レギュレータノブを回す際は矢印の方向にノブを引っ張りロックを解除してください。



チェックバルブ⑩

※空気が通る際にチェックバルブ⑩から振動音がする場合があります。

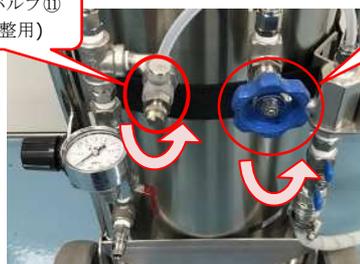


※0.4MPaを超える圧力には設定しないでください。加圧タンクに0.59MPa以上の圧力がかかると、加圧タンクの蓋のリリーフバルブから空気が排出されます。

### (4) 噴霧 標準SUSガン

エア量調整用のスロットルバルブ⑩、液量調整用のニードルバルブ⑫をご希望の泡質になるように調整し、スプレーガン①のレバーを握り噴霧してください。(6ページ「5. 泡質調整方法(参考)」参照)

スロットルバルブ⑩  
(エア量調整用)



ニードルバルブ⑫  
(液量調整用)

※スプレーガン①にはロック機能があります。金具を図の位置に嵌めると、常に握った状態となります。

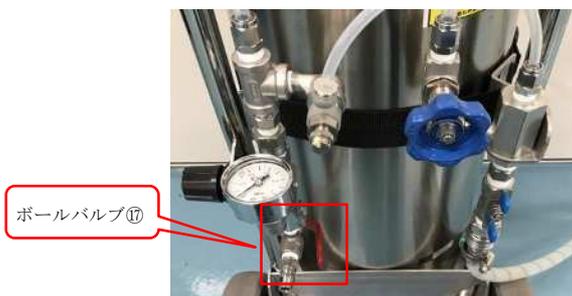


※噴射開始時には、噴射による反力がスプレーガン①に生じるため、スプレーガン①をしっかり保持してください。また、使用初めは泡がホース内を通りガンに達するまで空気のみ噴射されます。同様に、泡質調整した際は調整後の泡質で噴射されるまで時間がかかる場合があります。

### 3. 使用終了手順

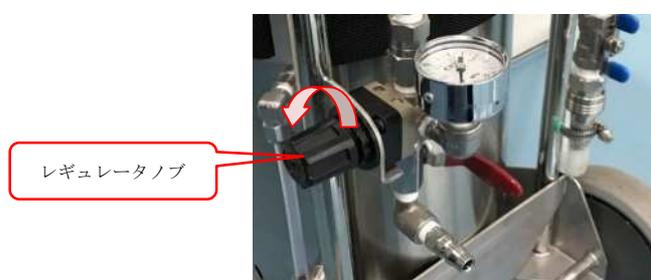
#### (1) エアーの供給停止

ボールバルブ⑩を閉じ、装置内へのエア供給を停止させます。



#### (2) 圧力の設定

レギュレータ⑧の2次圧力を 0MPa に設定します(ノブを反時計方向に回しきった状態)。



#### (3) 残圧処理

スプレーガンを握り、ホース内の残圧を抜きます。



リリースバルブ⑱を引っ張り、加圧タンク内の残圧を抜きます。

#### (4) 使用後のお手入れ及び保管方法

使用後は加圧タンク内に残っている噴霧液を捨て、加圧タンク内を水ですすいで洗浄してください。加圧タンク内に水を入れ、【使用開始手順】に従い、スプレーガンより水を噴霧し、装置内をすすぎ洗浄してください。

【使用終了手順】に従い、装置内の残圧を抜き、加圧タンク内に残っている水を捨ててください。

ホース取り外しの際は、青いバルブが締まっていることを確認してください。(右図参照)

開いたままホースを外すと液が飛び出して危険です。

バルブの向き(閉)



「長期間使用しない場合」

装置内を十分に乾燥させて保管してください。

噴霧液を入れずに、【使用開始手順】に従い操作し、エアーのみの運転を行ってください。

運転終了後は、【使用終了手順】に従い、装置内の残圧を抜いてください。

エアークラッププラグにダストキャップを取り付けて保管してください。

ダストキャップ

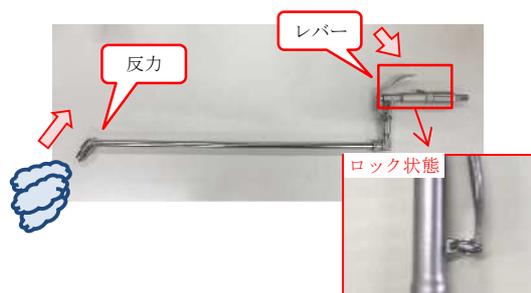


## 4. SUSランスガンの使用開始手順と使用終了手順

(1) 【2. 使用開始手順】に従って、噴霧を開始してください。

標準品と持ち方が変わります。

※スプレーガン①にはロック機能があります。  
金具を図の位置に嵌めると、  
常に握った状態となります。



(2) ガンの収納

ガンを使用しないときはノズル先端を固定金具に通し、ランスガン付属のキーリングをホースかけに通してください。  
加圧中のガンのレバーに触れますとノズル先端から噴霧されますので、ご注意ください。



ホースかけ

キーリング



固定金具

(3) 【3. 使用終了手順】に従って、残圧処理を行ってください。

残圧処理後は、4.(2)ガンの収納に従って、ガンを収納してください。

## 5. 仕様

### ●流量

レギュレータ 圧力 (MPa)	スロットル バルブ	ニードル バルブ	水流量 (L/min)	エアーク流量 (NL/min)
0.3	0.5回転	0.5回転	2.0	17
	1.0回転		1.8	24
	4.0回転		1.6	57

※スロットルバルブ、ニードルバルブは時計方向に回しきった状態(ゼロ点)から、反時計方向に何回転したかを表しています。

※水を噴霧した場合の流量です。流量は洗剤の種類、濃度等の調整条件によって異なります。

※スロットルバルブは、4回転以上回してもそれ以上エアーク量は増えません。

### ●加圧タンク

容量	18L
使用許容圧力	0.49MPa以下
リリース弁作動圧力	0.59MPa

## 6. 泡質調整方法(参考)

※洗剤の種類、濃度によって調整方法は異なるため、下記に示す方法や調整条件はあくまで参考となります。

●噴霧液	
洗剤の種類	某社食器・野菜用中性洗剤
洗剤の希釈率	1%

### ●泡質調節方法

上記仕様の噴霧液を用いた場合の泡質調節方法を以下に示します。  
スロットルバルブとニードルバルブを調整することで、流動状の泡からムース状の泡まで噴霧することができます。

#### ○初期設定

- ・スロットルバルブ(エア)：全閉
- ・ニードルバルブ(液)：全閉

#### ○制御範囲

- ・スロットルバルブ(エア)：0～2回転(時計方向に回しきった状態(ゼロ点)から、反時計方向に回転させた状態)
- ・ニードルバルブ(液)：0～0.5回転(時計方向に回しきった状態(ゼロ点)から、反時計方向に回転させた状態)

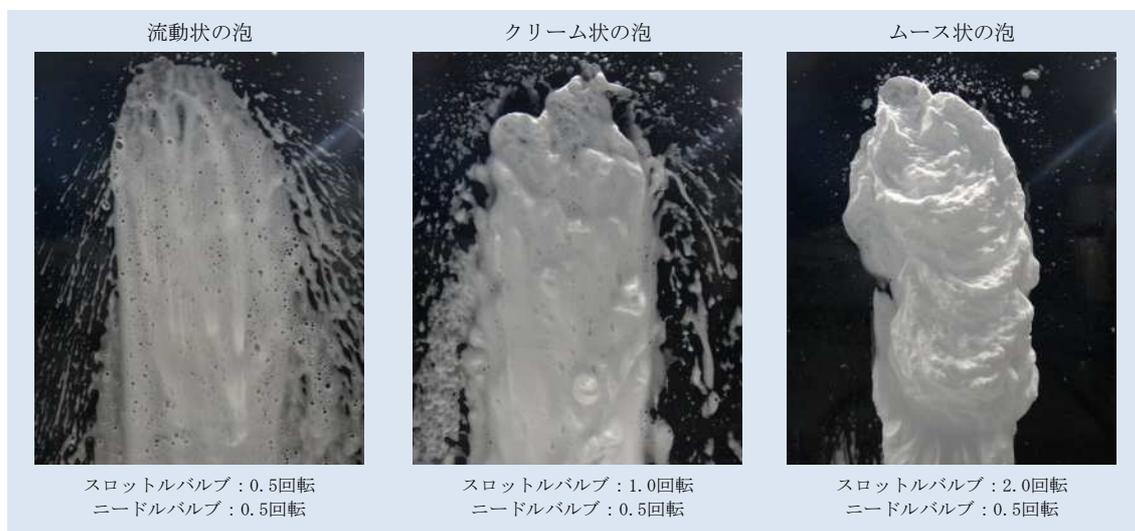
#### ○調整方法

初期設定より、ニードルバルブを開けていきます(反時計方向に0～0.5回転)。続いて、スロットルバルブを少しずつ開けていく(反時計方向)ことで、泡質を調節することができます。ご希望の泡質になるように調整してください。下記表は、上記の噴霧液仕様の場合の調整条件です。

レギュレータ 圧力 (MPa)	スロットル バルブ	ニードル バルブ	泡質	飛距離 <sup>※</sup> (m)
0.3	0.5回転	0.5回転	流動状	2.8
	1.0回転		クリーム状	3.5
	2.0回転		ムース状	2.9

※高さ約1mから噴霧したときの飛距離

#### ○噴霧直後の泡の様子



株式会社 **いけうち**  
<https://www.dry-fog.com/>

〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座 1-15-15 第一協業ビル  
Tel : 0120-997-084 Fax : 06-6538-4023 E-mail : mist@kirinoikeuchi.co.jp

各地の営業所情報はこちらをご参照ください。

<https://www.dry-fog.com/jp/corporate/location/>